

7
読 む
語句の意味をとらえる(慣用句) 〔確認〕
名 前

やってみよう

一 次の——線部の慣用句のうち、使い方が正しいものを一つ選んで記号で書きなさい。

ア 今日風が強くなりたいへん寒かったので、襟(えり)を正して帰った。  
イ 大勢の人の前で失敗したので、顔から火が出るほどだった。  
ウ 周囲に反対され、仕方がないのでつむじを曲げて協力した。  
エ 窓の外の雪景色がとても美しく、目も当てられないほどだ。

二 次の——線部の慣用句のうち、使い方が誤っているものを一つ選んで記号で書きなさい。

ア 自分の考えているやり方と違つたので、この仕事から手をひく。  
イ 友人の苦勞話に私が水を差したので、話がますますはずんだ。  
ウ 主将がそんなやる気のない態度では、部員に示しがつかない。  
エ 相手のチームが強いので、胸を借りるつもりで試合に臨んだ。

三 次の文中の( )に当てはまるものとして最も適切な慣用句をア～エの中からそれぞれ一つ選んで記号で書きなさい。

(1) 一つのミスのために、今までの努力が(ア)火の車 (イ)対岸の火事  
ウ 氷山の一角 (エ)水の泡( )となつてしまった。

(2) 彼は(ア)息をのんで (イ)目をむいて (ウ)鼻を高くして  
エ 舌を巻いて)怒鳴つた。

四 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

今日は、鎮守の森のお祭りだ。僕は、父と一緒に出かけた。さすがに人が多い。油断すると父とはぐれそうだった。こつたがえす人混みの中で、父はいろいろな人からあいさつをされている。

僕は、お祭りの出店が楽しみだ。金魚すくいやヨーヨーつり、綿飴にたこ焼き……。なかでもリンゴ飴はかせない。

今日のお祭りのために、実行委員会の人たちを中心にたくさんの方が準備にかかわってきたそうだ。今日も朝から、楽しそくにきびきびと働いている人たちがいた。揃いのほっぴもはちまきもかっこいい。今の僕では、祭りの実行委員になることは精神的にもつらく、負担も大きい。でも、いつかはきつと僕も実行委員の一員になりたいと思つている。

(1) 父親の人物像を表す慣用句として適切なものをあとの語群から一つ記号で選びなさい。

(2) 僕の状態や気持ちを表す慣用句として適切なものをあとの語群から一つ記号で選びなさい。

〔語群〕

ア 目がない  
イ 腰が低い  
ウ 荷が重い  
エ 顔が広い  
オ 頭を抱える